

2020

11

— November —

中 小 企 業

力を合わせて
ともに成長し、
広島をもっと元気に。

ひろしま

No.766

広島県中小企業団体中央会

令和2年11月10日発行(毎月10日発行)

INDEX

巻頭特集/組合・企業紹介 1~2

浸水被害を受け施設の再配置
等による事業継続を実現

協同組合三次総合卸センター

特集 3~5

Withコロナを機に、「経営の棚卸」に
取り組みましょう!

~ローカルベンチマークを活用した経営戦略~

秋の叙勲・褒章 6

中央会ニュース 7~8

“第72回中小企業団体全国大会”茨城県で初開催

コロナ禍の展示会で動画によるプロモーション

学びと実践を繰り返す4回シリーズの生産性向上ワークショップを開催

青年中央会ニュース 9

「組合青年部県大会」を開催

組合ニュース 10~11

コロナ禍でがんばる組合・企業の取組みを紹介します!

広島市中心部活性化へ向け「並木コンソーシアム」が活動開始
中振連、並木通り商店街、うらぶくろ商店街

お知らせ 11~12

安全・便利な「キャッシュレス納付」のご案内
広島国税局・税務署

小規模事業者の皆様へ
販路開拓・新たな事業転換の取り組みを支援します

9月景況レポート 13~14

中央会トピックス 16

「ものづくり連携倶楽部ひろしま第12回講演会」開催のご案内



写真提供：広島県

広島市
「銅蟲」

細やかな凹凸模様が
美しい銅製品です!



中小企業ひろしまの
マスコット
ヒロミちゃん

特集 頭巻 組合・企業紹介

協同組合三次総合卸センター

浸水被害を受け施設の再配置等による事業継続を実現

～組合設立50年の節目に新たなスタート～

理事長

平田 頼曠 氏



昭和45年に集団化により設立

当組合は、昭和45年に食料品、雑貨及び文房具の卸売業者17社により、流通機構及び企業経営の近代化・合理化を図ることを目的として設立しました。

昭和40年当初、大量生産、大量消費を繋ぐ大量流通の必要性が高まる中、卸売業の使命を果たすためには、配送、保管等を高度化し、卸売業として総合的な力をつける必要がありました。また、当時は、中国自動車道の開通と関連道路網の整備により、流通の広域化が進み、広島市などから

三次市への卸売業者の進出による競争激化も危惧されていました。

こうした中、当時のメンバーは、交通量が多く駐車禁止等の交通規制が多い、三次市街地に事業所が散在しており、駐車場の確保さえも困難な状況でした。小売業者も同様に、自動車で卸店廻りをしてきた当時の仕入活動は、非効率の極みにありました。

このような課題を解決するには、集団化により新たな場所で事業を行うことが最善だと考え、協同組合設立後、約2年の建設期間を経て、昭和47年4月郊外に念願の卸団地を完成させました。

五度の水害に遭遇

当組合はこれまで五度、浸水被害に遭いました。最初は、団地完成後間もない昭和47年7月、記録的な豪雨により、完成したばかりの当団地も、甚大な被害を受けました。その後も昭和61年、平成5年、10年と三度も被害を受けました。

五度目は、平成30年7月6日の西日本豪雨災害です。この時は、当団地の側を流れる馬洗川が氾濫水位を超えたため、2本の支流の水門が閉じられましたが、支流の水を本流にくみ出す3基のポンプのうち2基が燃料切れにより停止。この結果、行き場をなくした雨水が団地内に溜まり、敷地全域に0.9～1.6mの高さまで達したのです。

組合事務所、共同倉庫等の建物が浸水し、冷凍設備を始め機械設備が故障、営業車、在庫商品の被害は特に大きく、総額約10億円となる被害となりました。それでも、我々は顧客や取引先のためにも一日も早く事業再開したいと考え、何とか7月下旬には組合員全社が営業再開したものの、取引量はかつての60～70%がやっとのこ



平成30年7月の西日本豪雨災害

とでした。

とはいえ組合員の多くは、再度、豪雨が発生したら二度と立ち直ることができないという不安に駆られ、このままでは他の場所に移らざるを得ないという者も出始めるなど、組合として、まとまりがつかない状況に陥りました。これまでの団地のままで進むのか、団地を再生して新たな道を進むのか、苦渋の選択を迫られることになったのです。

ピンチをチャンスに変えて 団地復活

被災直後から行政、支援機関や金融機関を中心とした熱心なサポートがあり、支援策の活用も含め、どのようなことが可能で、どの方向に進むべきかなど我々も何度も議論を重ねました。

その結果、守り続けてきたこの場所を再生させようと決し、団地の再生プランを立案しました。その際、広島県グループ補助金、三次市独自の補助金等を組合として活用することができ、再度の水害予防対策を施し、再生を計画したものです。水害の影響が大きいエリアには建物を建築せず、同じ敷地内のより安全な場所への移転、あるいは建物の1m程のかさ上げ、これまでのように各組合員の事務所が連なった長屋タイプではなく、個別の建物とする再配置など、組合員の事業の継続を担保するために大規模なハード整備を盛り込んだものとなりました。



完成した団地の全景

加えて、効率的に業務を行うための荷受場やオフィスのレイアウトなど、安全面だけでなく機能面についても検討したいという組合員の意志を尊重し、発注者として組合が組合員、施工会社と話し合いを重ね、図面を練り直していきました。

こうして、時間をかけて、組合員の想いを込めた再生計画として、次なる被災を未然防止しながら生産性も高める団地としてスタートラインに立ったのです。

その後、平成31年1月に工事を着工、組合員が営業を続けながら解体と建築を同時に実施し、建物が完成した組合員から随時移転、新店舗での営業を開始し、令和2年2月に団地の再生が完了しました。

県北の流通拠点として貢献

今年は組合設立50年の節目の年に当たります。たくさんの方々の支援を受け、50年という節目に新たな卸団地として生まれ変わることができました。

一方で、今年は新型コロナウイルス感染症拡大により取引が大きく落ち込むなど、組合員にも大きな影響がありました。これからは、自然災害だけでなく、今回のような想定外の事態に対応するための備えも必要となりますが、当組合には消防計画と緊急連絡網しかないのが現実です。

そこで、我々は改良されたハードに加えソフト面にも目を向け、まずは災害リスクに焦点を当てた組合BCPの策定を第一歩としてスタートさせることを計画しています。組合員も共に検討し、緊急事態に迅速な初動対応が出来るような内容を作り、業務の中断を少しでもなくすよう努力したいと思います。

今回の復旧・復興に向けて当組合が果たした役割のように、今後も相互扶助の精神の下、さらに前進していかなくてはなりません。組合員が協力しながら経営力のレベルアップを図り、サプライチェーンの一役を着実に担うとともに、雇用の創出に繋げ地域に貢献していくことが、支援していただいた皆様への恩返しだと考えています。

この50年目を契機とし、これからの環境変化にも柔軟に対応しながら、県北の流通拠点として重要な役割を果たして参ります。

(取材:連携支援部 角崎暢彦)

協同組合三次総合卸センター

〒728-0006 三次市畠敷町923
TEL : 0824-63-6001
FAX : 0824-63-2160
URL : <http://miyoshi-oro.ecweb.jp/>



Withコロナを機に、「経営の棚卸」に取り組みましょう！ ～ローカルベンチマークを活用した経営戦略～

中小企業経営は、コロナ禍による劇的な市場・環境の変化により、予断を許さない状況が続いています。広島県中央会が実施した「With・Afterコロナにおける事業経営調査」(約1,000事業所からの回答)によると、「ビジネスモデルの見直しや再構築」について取り組みを進めていきたいという回答が半数以上を占めていました。また、当会にも会員組合や組合員企業の皆様から、「どこから手を付けてよいのか分からない」といったご相談も寄せられています。

そのような企業の皆様には、このコロナ禍で先が見えない今だからこそ、会社の実態や事業の強みを一から見つめ直すために、「経営の棚卸」に取り組むことをご提案しています。ビジネスモデルの見直しや新規事業の開拓を始める上で、現在の自社の経営状態を正確に把握しておくことで、次の一手となる事業の成功をより確かなものとのできます。とはいえ、日々経営に奔走されている中小企業では、専門人材を確保する余裕が無いとか、あるいは取り組む時間が無いとの声もお聞きます。

広島県中央会では、こうした状況を踏まえ、「経営の棚卸」の第一歩の取組として、「ローカルベンチマーク」の活用を推進しています。「ローカルベンチマーク」は、決算資料の分析や既存事業の強み・弱みの洗い出しなどを通じて、簡易に自社のみで経営分析ができ、しかも業界比較もできるなど優れたツールです。本特集では、経営の棚卸による客観分析を元に経営戦略づくりに取り組む企業様向けのツールをご紹介します。

Q1. 「ローカルベンチマーク」ってなに？

ローカルベンチマークは、「経営の見える化支援ツール(健康診断ツール)」です。その内容は、決算資料に載っている数字を用いた財務分析と、商流把握や、業務フローにおける差別化ポイントを見出す非財務分析で構成されています。これを活用すると、これまで漠然と感じていた自社の経営状況を、具体的に言い表すことが可能になり、社員同士で共通の経営資料を用いて経営戦略を検討したり、金融機関や支援機関など、対外的な説明が必要な時にも大いに役立ちます。例えば、自社の状況を、以下のように説明することができるようになります。

「当社の財務状況は、分析結果から〇〇の状態にあると言えます。」

「当社の強みは、〇〇工程の〇〇のところにあります。」

「当社は、生産設備やITツール導入を通じて、このような管理体制で効率経営に取り組んでいます。」

「当社の課題は、財務分析や商流・サプライチェーンの分析から、〇〇にあると捉えています。」

Q2. 「ローカルベンチマーク」を使って何がわかる？

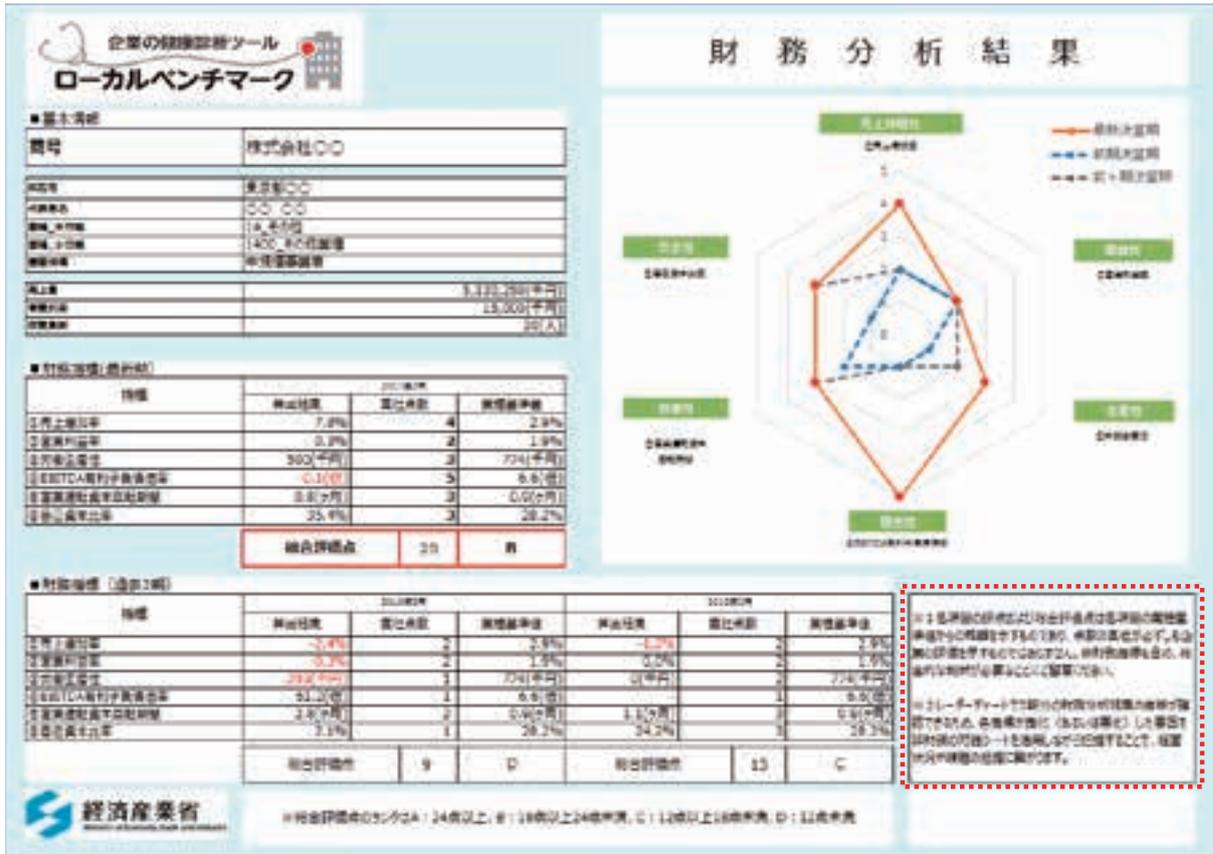
ローカルベンチマークでは、具体的に「財務情報」と「非財務情報」の2つの情報から分析を行います。

「財務情報」…6つの指標を軸に分析結果を自動出力

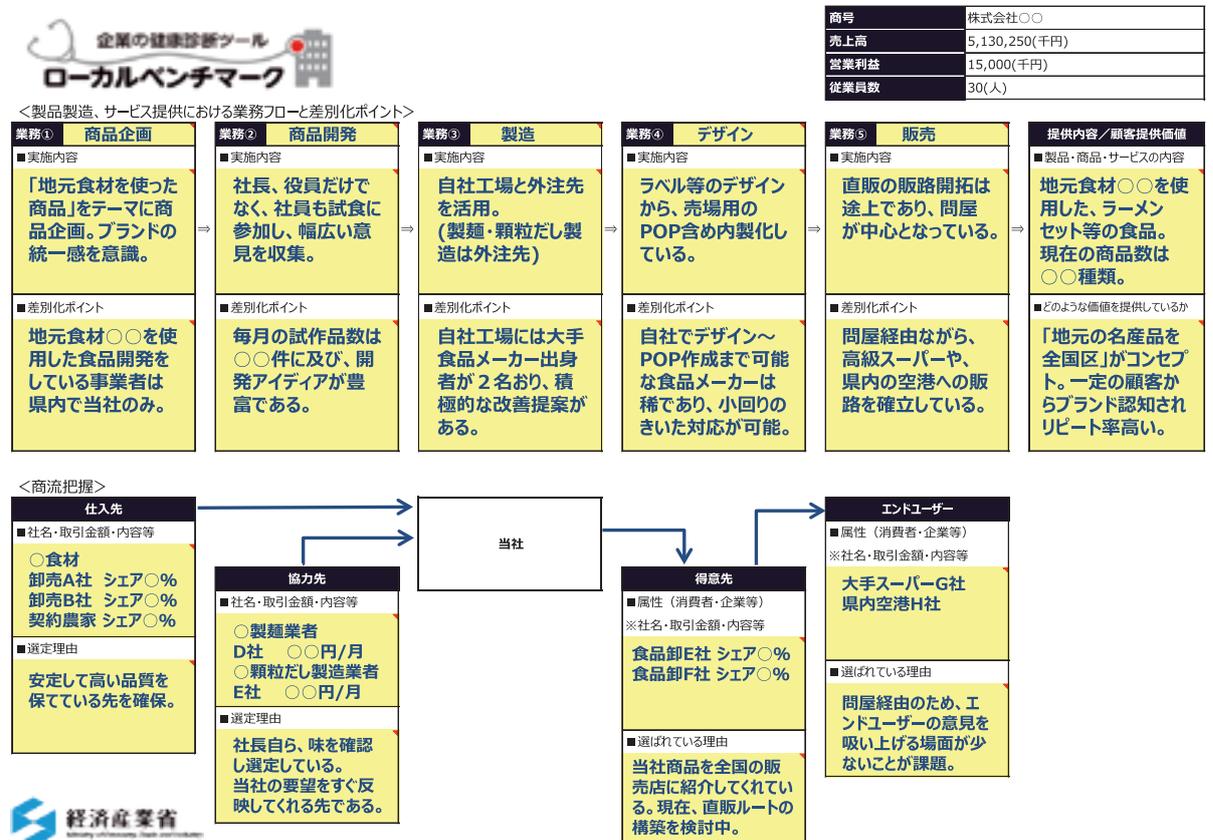
- ①売上増加率、②営業利益率、③労働生産性、
- ④EBITDA有利子負債倍率、⑤営業運転資本回転期間、⑥自己資本比率

「非財務情報」…企業の強み・弱み、差別化ポイントの把握

- (1) 業務フローと商流分析
- (2) 4つの視点(経営、事業、企業を取り巻く環境・関係者、内部管理体制)による経営課題整理



<図表:ローカルベンチマークで出力される財務分析シート>



<図表:ローカルベンチマークで出力される非財務分析シート>

Q3. 分析した後、こういった場面で活用できるの？

ローカルベンチマークには、分析結果を同業他社と比較できる客観的なデータが備わっています。したがって、分析結果を自社の経営戦略を考える際の有効な資料の一つとして活用することができます。

具体的には、社内の経営会議や、将来の経営計画を考える際のツールの一つとして活用できます。また、企業の経営状態が見える化していることで、支援機関や専門家の支援を受けたい場合、この分析資料を通じて、より経営実態や課題に即した、アドバイスを受けることに繋がります。

Q4. やってみたいけど、どこから手をつければいいかわからない。

広島県中央会では、組合支援の一環で、組合員企業のローカルベンチマーク作成支援にも力を入れています。

組合事務局におかれましても、組合員に対して、「経営の棚卸」を通じた経営戦略立案のための簡易な分析ツールとして、ローカルベンチマークの活用を推進していただきたいと思います。

●例えば、以下のような企業様からご相談があった際は、当会職員が伴走して取り組みます。

- 新型コロナウイルス感染症によって経営に大きな影響が出ているが、具体的な行動を起こせていない。
- 実態に沿った経営計画の立案に興味を持っているが、経営の見える化ができていない。
- 支援機関や中小企業診断士等の専門家に経営の見える化支援をこれまで受けた経験が少ない。
- 事業承継にまだ取り組めていない。または、後継者育成や後継者探しがうまく進んでいない。

Q5. でも、作成に手間も時間もかかりそう…。

「今」なら、「全額無償」で、支援機関と専門家による作成支援が受けられます！

現在、広島県中央会では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、経営改善に積極的に取り組みたい事業者様を対象に、全額無償で専門家派遣による経営改善支援事業を実施しています。（※予算の都合により先着順。原則3回まで。金額に達し次第締切とします。）

組合員企業が、ローカルベンチマークを活用して自社分析をしたいと考えているが、「どこから手をつけて良いのかわからない」といったお悩みがあれば、当会の組合担当職員までお気軽に相談ください。最適な支援について企業様とともに考えていきます。

【お問い合わせ先】

広島県中小企業団体中央会 各組合担当まで

広島市中区基町5番44号(広島商工会議所ビル 6階) TEL:082-228-0926

令和2年 ● 秋の叙勲・褒章 ●

この度の受章、誠におめでとうございます。

叙勲



旭日双光章

西村 好一 氏

広島県歯科医師協同組合 前安佐支部長



旭日双光章

藤岡 一郎 氏

協業組合新生グループ 理事長

褒章



黄綬褒章

幸田 康夫 氏

広島内装表具協同組合 元理事

中央会 NEWS

“第72回中小企業団体全国大会”茨城県で初開催 『つながるひろげる連携の架け橋 ～スクラム強く 団結前進～』



全国中央会森会長開会挨拶

10月22日、「第72回中小企業団体全国大会」が水戸市において開催され、全国から中小企業団体の代表者約380名

が参集し、経済産業大臣 梶山弘志氏臨席の他、厚生労働省 田村大臣、農林水産省 野上大臣等はビデオメッセージを寄せられた。広島県中央会からは伊藤会長他2名が出席した。

本大会では、新型コロナウイルス感染防止対策のため、ソーシャルディスタンスの確保や“3密”を考慮した対策を施し、各都道府県からの参加者も最小限に抑えての開催となった。また、大会当日は、「新型コロナウイルス感染症及び

多発する災害からの復興支援と中小企業強靱化・事業継続力強化への強力な推進」、「生産性向上の実現支援の加速化と新たな展開対応への支援強化」、「次世代への円滑な事業承継・後継者育成に向けた対策の強化」など21項目を決議し、「大会宣言」を高らかに宣し採択された。

今後は、全国中央会を中心に都道府県中央会が連携し、国等への要望活動を行う。なお、次回大会は令和3年11月25



会場での記念撮影

日に「神奈川県」において開催することが決定した。

(大会内容の詳細は
全国中央会HP参照)



コロナ禍の展示会で動画によるプロモーション ～ものづくり補助金活用事業者 フォローアップ事業～

広島県中央会では、更なる販路開拓を目指す、ものづくり補助金活用事業者11社により「第23回関西機械要素技術展」に共同出展(動画のみの出展社も含む)した。

これは、当会の実施する販路開拓支援の一環であり、今回は事前に「動画を作って販路開拓に活かすセミナー」等を開催し、出展社には、商品PRに必要な動画を完成させると同時に、プレゼン力の向上にも取り組んでいただいた。展示ブースで、参加各社の動画を流すことにより、映像と音による訴求効果の高いプロモーションを実現。来場者の関心を集めるブースとなった。

出展した展示会は、例年、来場者数約4万人、出展社数1300社以上の規模であったが、今回は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、来場者数及び出展社数は概ね半減となった。しかし、このような中でも出展各社から、「次に繋

がる具体的な商談ができた」「好評をいただき自社商品に自信が持てた」「自社の売りを整理することができた」「コ



プロモーション動画によるPR風景

ロナ禍での動画活用の必要性を学べた」など、次に繋がる多くの声を聞くことができた。

広島県中央会では、コロナ禍で経済活動が大きく制約される中であっても、環境変化に対応した新たな販路拡大ツールやその活用方法について積極的に提案・サポートをしていく。「動画を作って販路開拓に活かすセミナー」は、多くの要望が寄せられたため、第2弾の実施を11月に決定したが、既に募集人数を上回ったため募集を中止しており、現在、第3弾の実施を検討している。

中央会 NEWS

学びと実践を繰り返す4回シリーズの生産性向上ワークショップを開催

昨年までの3年間、広島県が取り組んだ「サービス産業等の生産性向上」への取り組みを県内企業へとさらに波及させることを目的に、本年度は異業種7社によるワークショップを開催した。

ワークショップは月1回のペースで計4回実施し、インターバル期間中も当会がコーディネータとなり、講師と受講者の橋渡しをし、課題を共有することで、業務改善のブラッシュアップを行った。

「ワークショップ形式」で主体的に学び、自社に持ち帰り実践することの「繰り返し」で各社とも確実な成果に繋げることができた。

今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンライン会議システムを利用し、Web上で開催した。その結果、県内各地から参加することができ、また移動時間の短縮により効率的な学びの機会が実現するなど、副次的な効果もあった。

自社の生産性向上に向けてお互いが成長することを目指した7社協働による改善活動及びその成果の一部を紹介する。

改善の視点:いかにムダをなくすか

Before

A社は、工場内に歩行専用スペースがなかったため、人荷混在し人の移動に大きな障害やロスが発生していた。

After

人が通る動線には太い線を、物を置く定置用では細い線の使用を統一して引くことで作業スペースと人が通るスペースを見える化し、特に意識しなくても自然にルールが浸透した。さらに人荷が分けられることで安全性が高まると同時に、歩行者の障害物となる製品等は完全に仕分けされた。



作業スペースと人が通るスペースを明確化

改善の視点:いかに業務標準化を進めるか

Before

B社は、以前からあったマニュアルがわかりにくく、最新技術にも対応していなかったため、マニュアルとして機能しておらず、作業員毎にオペレーションのばらつきが激しかった。また、外国人従業員も一定数いる中でマニュアルの多言語化はされず、一部の作業員にしかわからない状況であった。

After

業務ごとに要領書を細分化して作成することにより属人化からの脱却を図ることとし、代務等で担当者以外が初めての作業となった場合でも、その作業を確実に求める品質でこなせるようになりつつある。また、動画マニュアルを作成することで、誰でもわかりやす



いマニュアルとなった。

総評

このたびのワークショップの参加者から多く聞かれたのは「必要性は認識していたが、目先の仕事に追われ、延々と後回しになっていた改善が、今回のワークショップへの参加によって行動を起こすきっかけになった。」という声であった。ワークショップをきっかけとして自社内で改善に取り組み、ワークショップ期間中に仕組み化を試みることで、終了後も独自に改善に取り組む土壌ができつつある。

中央会では来年度も、このワークショップを予定しており、今後も、組合単位や同業種での開催など、各社内での生産性改善を目指すとともに、取引関係にある事業者間での課題解決により、改善効果の高い好事例も戦略的に創り出していきたい。

青中NEWS

「組合青年部県大会」を開催 ～コロナ禍の今こそ「未来への種まきを」～



田崎会長

広島県中小企業団体青年中央会は、10月15日(木)、おりづるタワーにて「組合青年部県大会」を開催。コロナ禍で活動が消極

的になる中小企業が多い中、本業の自動車販売業の他に、新たなグループ企業の立ち上げを積極的に行い、経営の多角化に挑戦する株式会社広島マツダ代表取締役会長兼CEOの松田哲也氏の経営姿勢を参考にしたいとの声に応え、同氏による講演会を「コロナ禍でピンチをチャンスに変える発想」と題して開催した。

講演の中で松田氏は、危機に対する心構えについて語られた。新車の販売市場は、大幅な人口減少やカーシェアの普及などから長



松田哲也氏

期的に縮小することは明らかであり、自社の進む方向として、「広島でシェアNO.1を狙う」「海外に打って出る」「全く異なる業種に取り組む」という3つ全てを実施する道を選択したと説明された。

シェアNO.1目標では、自社のブランド作りのため、社員自らによるPR活動を展開するほか、多角化戦略として「おりづるタワー」のオープン、今年に入ってから新たにモデルの事務所や外国人の就職斡旋企業の立ち上げ、無人ホテルの開設などを手がけられている。こうした展開に当たっては、広島マツダとして副業を認め、社員をグループの新会社の役員に抜擢するが、仮に新会社がなくなっても元の会社に籍を残してリスクを引き下げながら、企業家として仕



講演会会場風景

事の実践を通して学ぶ体制を構築した。「経営人材として新しいことに挑戦し、経営者として悩みや苦勞も感じて、経験を積んでもらいたい。」と語られた。

また松田氏は、「平常時に戻るまで待つのではなく、未来にスタートダッシュが図れるよう今こそ『未来への種まき』が必要ではないだろうか。」と新規事業挑戦への大切さについて熱く語られ、コロナ禍で戸惑う参加者の背中を押していただく講演となった。

講演後には、おりづるタワースタッフの方々に説明をいただきながら、屋上展望台「ひろしまの丘」や「おりづるの壁」の他、松田氏の目指す「ライフisワーク」を実践する次世代型ワーキングオフィスを見学させて頂き、全日程を終了した。

参加した青年中央会関係者からは、今回講演をいただいた松田氏のように常に挑戦していく姿勢で今後取り組んでいきたいとの声が聞かれた。



次世代型ワーキングオフィスを見学



輪になれ広島

組合NEWS

コロナ禍でがんばる組合・企業の 取組みを紹介します！

新型コロナウイルス感染症による影響が深刻さを増す中であっても、苦境を乗り越えるための工夫を凝らした取組みが行われています。組合組織の強みを活かした事業、新たな企業連携、市場変化対応による新商品開発など、協同・連携、相互扶助に積極的に取組んでいる会員組合・企業をご紹介します。

寄付・支援活動

「輪になれ広島」を応援！
～「パワーウッド ひば癒やしの箱」を医療機関等
へ無償提供～

協同組合テコフォーム広島

同組合では、コロナ禍の中で尽力されている医療機関や老人介護施設関係者を、自分たちにできることで支援したいとの想いから新商品の開発に取り組んでいる。

当組合が開発したりサイクルプラスチック素材「TECOフォーム」は、丈夫で腐食しにくく高い耐久性を持つ。これまでにこの素材を使ったボックスの中に土や花を入れる商品（植栽ボックス）を開発していたが、このボックスの中に新たにひば材のチップを入れることで、ひばの独特な香りによる癒しや消臭などの効果を持たせた。

コロナ禍で外出しにくい生活環境にあっても、室内で「森林のセラピー効果」が期待できる商品として「パワーウッドひば癒やしの箱」とネーミングした。この商品は、コロナ禍を県民が支え合う地域支援プロジェクト「輪になれ広島」の応援企画として、ボックスの側面にロゴマークと組合名を入れた。

10月上旬には、完成した試作品を医療機関や老人介護施設に対して無償で提供した。今後は感想や意見を頂きながら、商品化に向けて改良を重ねていく予定である。

同組合の小川理事長は、「中央会から伺った『輪になれ広島』の話をきっかけに開発に取り組むこととなった。まだ試作段階であり、今後は皆さんから頂いた意見をもとに、より癒やし効果を与えられるような良い商品にできればと思う。」と語られた。



新事業・新商品開発への取組み

宮島細工をアピールする広報大使を任命

宮島細工協同組合

新型コロナウイルス感染拡大の影響で宮島への観光客が大幅に減少する中、宮島の伝統工芸士たちで作る同組合では、宮島伝統産業会館の来館者増加と体験施設の改修を目的に、広島県観光連盟が主催する広島県クラウドファンディング観光応援プロジェクト「HITひろしま」を活用して資金調達を目指した。広島や宮島に思い入れのある方からの賛同を得る事ができ、今後、賛同者には広報大使になっていただくと同時に、新商品開発の際のマーケティングにも協力いただくこととしている。

さらに、11、12月に宮島伝統産業会館で計5回の宮島彫無料体験会を開催し、参加者の中から、任期1年の期間限定で広報大使を任命する。広報大使は、宮島細工の伝統工芸士が創り出す工芸品の美しさや、宮島彫りやしゃもじ作り体験の楽しさを友人・知人に伝える「宮島細工応援団」として組合主催イベントなどに参加しながら、SNSなどを活用して情報発信をしてもらう予定である。昨今、消費行動において経験価値が重視される中、広報大使にインフルエンサーになってもらうことを想定している。

広川理事長は、「コロナ禍で厳しい状況が続くが、宮島細工という伝統工芸を守り、継承していくために、広報大使に活躍してもらい、宮島の文化をもっと広めてほしい。」と意気込みを語られた。



組合NEWS

広島市中心部活性化へ向け「並木コンソーシアム」が活動開始 中振連、並木通り商店街、うらぶくろ商店街

これまでエリア全体の将来像が描けていないことが課題であった広島市中区の並木通り商店街や袋町地区一帯において、商店街や地域団体が連携して地域一帯の活性化を推進する組織「並木コンソーシアム」が活動を始めた。コンソーシアムは、中振連、並木通り商店街、うらぶくろ商店街、袋町の住民団体などで構成され、9月下旬に初会合が開催された。



現在、本通りや平和大通り、鯉城通りや中央通りの幹線道路に囲まれた袋町エリア(都市のヘソ)は、その特性からエリアの計画名称を「うらぶらーひろしまインサイドプラザ」(仮称)としている。都心の集客力とスモールタウンの独立した魅力の両方に着目し、来訪者や居住者が緑豊かな居心地の良い都市空間(インサイドプラザ)をそれぞれの目的や思いで自由に回遊でき、瀬戸内の海や山との「ファーム・トゥ・テーブル」(農場から食卓へ安全で新鮮な食材を届ける)を楽しめる場を設けることで、日常的に多くの人が滞在しリピートする広島らしいまちづくりを目指す。

コンソーシアムは、国土交通省の官民連携まちなか再生推進事業の採択を受けており、エリアの目指す将来像の方向性として、「緑豊かで穏やかな街づくり」「地産地消の“美食の街づくり”」「多様な文化が集まる街」「安心して歩き暮らせる街」の4つの方針を設けた。歩行者優先の街路で日常的にマーケットを開くことでエリア一体でのにぎわい創出を目指し、2021年度末に向けて市や国と連携しながらエリアプラットフォームの運営及び未来ビジョンの策定に向けた検討を進めていくこととしている。

コンソーシアムは、国土交通省の官民連携まちなか再生推進事業の採択を受けており、エリアの目指す将来像の方向性として、「緑豊かで穏やかな街づくり」「地産地消の“美食の街づくり”」「多様な文化が集まる街」「安心して歩き暮らせる街」の4つの方針を設けた。歩行者優先の街路で日常的にマーケットを開くことでエリア一体でのにぎわい創出を目指し、2021年度末に向けて市や国と連携しながらエリアプラットフォームの運営及び未来ビジョンの策定に向けた検討を進めていくこととしている。

コンソーシアムは、国土交通省の官民連携まちなか再生推進事業の採択を受けており、エリアの目指す将来像の方向性として、「緑豊かで穏やかな街づくり」「地産地消の“美食の街づくり”」「多様な文化が集まる街」「安心して歩き暮らせる街」の4つの方針を設けた。歩行者優先の街路で日常的にマーケットを開くことでエリア一体でのにぎわい創出を目指し、2021年度末に向けて市や国と連携しながらエリアプラットフォームの運営及び未来ビジョンの策定に向けた検討を進めていくこととしている。

お知らせ

安全・便利な「キャッシュレス納付」のご案内

1 ダイレクト納付とは

あらかじめ届出をした**預貯金口座からの振替**により、即時又は指定した期日に納付することができる便利な電子納税の手段です。

スマホでもOK!



こんないいこと!

- 金融機関や税務署の窓口に出向く必要なし!
- ⇒源泉所得税を毎月納付している方に便利
- 税理士が納税者に代わって納付手続きできます!
- 納付する際に、預貯金口座を選択可能!
- 納期限前の計画的な納付(予納)ができます!

詳しくはこちら ⇒



広島国税局・税務署

2 振替納税

事前に届け出た預貯金口座から指定された期日に自動で引き落とすことにより納付できます。

*個人の申告所得税・消費税に限ります。



3 インターネットバンキング

インターネットバンキングにより国税を電子納税できます。



4 クレジットカード納付

専用サイトへアクセスし、クレジットカードを利用して納付できます。

*納付額に応じた決済手数料がかかります。



お 知 ら せ

小規模事業者の皆様へ 販路開拓・新たな事業転換の取り組みを支援します

1. 小規模事業者持続化補助金(国制度)

(1) 一般型(令和元年度補正予算)

小規模事業者が地域の商工会または商工会議所の助言を受けて作成した経営計画に基づき販路開拓に取り組む費用の一部を補助するものです。

(2) コロナ特別対応型(令和2年度補正予算)

新型コロナウイルス感染症が事業環境に与える影響を乗り越えるために、小規模事業者が作成した経営計画に基づき、**[A類] サプライチェーンの毀損への対応**、**[B類] 非対面型ビジネスモデルへの転換**、**[C類] テレワーク環境の整備**に取り組む費用の一部を補助するものです。

※(1)または(2)の採択・交付決定を受けた事業者のうち希望者は、さらに「事業再開枠」として、業種別ガイドラインに基づく感染防止対策に要する経費について、追加補助を受けることができます。<定額・上限50万円>

2. 緊急対策販路開拓等支援補助金(県制度) ※持続化補助金の採択者のみ使用可

小規模事業者持続化補助金(国制度)の採択・交付決定を受けて、販路開拓等に取り組む費用の一部を助成することで負担軽減を図り、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた小規模事業者の事業継続を支援します。**[国の持続化補助金に上乗せ補助]**
※上乗せ分の補助金交付には、持続化補助金(国制度)の確定通知書のコピーが必要です。

◆補助率・上限額

国・持続化補助金(一般型) 補助率2/3 上限50万円	+	広島県・上乗せ補助 補助率1/12 上限62,500円	=	小規模事業者(自己負担1/4)
国・持続化補助金(コロナ特別対応型A類) 補助率2/3 上限100万円	+	広島県・上乗せ補助 補助率1/12 上限125,000円	=	小規模事業者(自己負担1/4)
国・持続化補助金(コロナ特別対応型B類またはC類※) 補助率3/4 上限100万円	+	広島県・上乗せ補助 補助率1/12 上限111,000円	=	小規模事業者(自己負担1/6)

※B・C類単体またはA類とB・C類の組み合わせ

県は「事業再開枠」を除いた経費の1/12を上乗せ補助

[注] 国の持続化補助金の最新情報は、全国商工会連合会または日本商工会議所のHPで随時ご確認ください。

◆対象者

広島県内の商工会または商工会議所の管轄内で事業を営んでいる小規模事業者

商業・サービス業(宿泊業・娯楽業を除く)	常時使用する従業員の数	5人以下
サービス業のうち宿泊業・娯楽業	常時使用する従業員の数	20人以下
製造業その他	常時使用する従業員の数	20人以下

[注] 受付締切日の前10か月以内に、先行する受付締切回で採択・交付決定を受けて補助事業を実施した(している)者は対象になりません。

◆対象となる取組事例

- <一般型>: 新商品を陳列するための棚の購入、新たな販売促進用チラシの作成・送付など
- <コロナ特別対応型A類>: 部品調達困難による部品内製化、出荷先営業停止に伴う新規顧客開拓など
- <コロナ特別対応型B類>: 自動精算機やキャッシュレス決済端末の導入、店舗販売からEC販売へのシフトなど
- <コロナ特別対応型C類>: WEB会議システムの導入、クラウドサービスの導入

◆持続化補助金(国制度)の申請メチ

既に受付が終了している回についても、国の採択・交付決定を受けている事業者は、県の上乗せ補助の対象になります。

受付 一般型(第4回) 令和3年2月5日(金)【当日消印有効】
コロナ特別対応型(第5回) 令和2年12月10日(木)【郵送必着】

※申請に必要な事業計画等の作成について助言を受けられたい方は、お早めに商工会・商工会議所へご相談ください。

<県の上乗せ補助に関するお問い合わせ先>

広島県 商工労働局 経営革新課 経済団体グループ

TEL:082-513-3328

※詳しくは、広島県ホームページで!

広島県緊急販路

検索

9月

景況 REPORT

— 情報連絡員報告から —

☀️ 増加・上昇・好転

☁️ 変わらず

☔️ 減少・下落・悪化

製造業

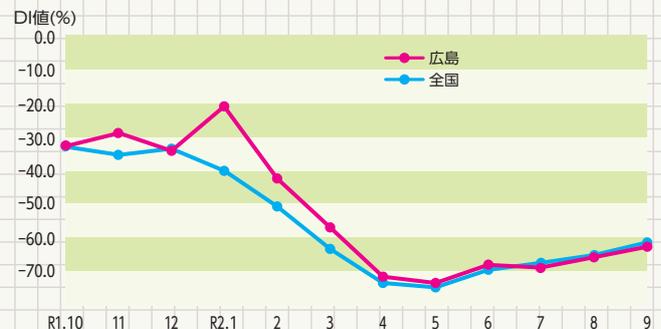
業種	動向項目	前月比		前年同月比	
		売上高	業界の景況	売上高	業界の景況
食料品		☔️	☁️	☔️	☁️
繊維・同製品		☁️	☔️	☔️	☔️
木材・木製品		☀️	☀️	☔️	☔️
印刷		☀️	☁️	☔️	☁️
化学・ゴム		☀️	☀️	☔️	☔️
窯業・土石製品		☀️	☁️	☔️	☁️
鉄鋼・金属製品		☔️	☁️	☔️	☔️
一般機器		☀️	☔️	☔️	☔️
電気機器		☔️	☔️	☔️	☔️
輸送用機器 (自動車・造船)		☔️	☔️	☔️	☔️
その他 (家具・装備品)		☔️	☁️	☔️	☔️

(注)DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

非製造業

業種	動向項目	前月比		前年同月比	
		売上高	業界の景況	売上高	業界の景況
卸売業		☔️	☔️	☔️	☔️
小売業		☔️	☔️	☔️	☔️
商店街		☀️	☔️	☔️	☔️
サービス業 (自動車整備・広告・警備・情報サービス)		☀️	☔️	☁️	☔️
建設業 (工事業)		☀️	☔️	☔️	☁️
運輸業		☀️	☁️	☔️	☔️
その他 (不動産業)		☀️	☁️	☁️	☁️

景況DI値の推移 (前年同月比)



情報連絡員からのコメント紹介

※本調査は10月の見通しについても調査をしている関係上、特に新型コロナウイルスの世界的感染拡大に対する10月以降のコメントも掲載しています。

製造業

食料品

●9月の出荷量は前月比2.0%減少、前年同月比3.5%減少となり、売上高は前月比1.0%減少、前年同月比4.1%減少となった。
●全体的に回復の兆しがでてきつつある。しかし、多くの業種でコロナ禍による萎縮が見られるため、消費が伸び悩んでいるのではないかと感じる。

繊維・同製品 (繊維工業)

●引き続き売上高は悪い状態が続いており、先行きが見通せない状況である。

繊維・同製品 (衣服・その他の繊維製品)

●4月～6月の緊急事態宣言の間は売上が減少していたが、徐々に通常に戻りつつある。

木材・木製品

●一時期よりは景況感は上向きつつあるが、先行きは不透明である。
●<全国>
・令和2年8月の全国の住宅着工戸数は69,101戸で前年同月比9.1%減少
・季節調整済年率換算値では819千戸(前月比1.0%減少)
・住宅着工動向は前年同月比14ヶ月連続で減少とリーマンショック後に次ぐ低水準が続いている
●<広島>
・8月の着工戸数は1,243戸で前年比11.7%減少

●県全体の住宅着工動向は依然厳しい状況にあるが、移動制限があった春先の大幅な落ち込み予想までは低迷しておらず、人の移動や接客が出来ない時期からすると、復調の兆しが見られる。
●公共建築や民間を含めた非住宅分野の木造化を支援する補助事業の相次ぐ実施で今後の受注増への期待は大きく、燃料向けチップの需要も安定している。一方で、輸出梱包やパレットなど物流関連資材は依然として停滞感が強く先行きが見通しづらい状況にある。
●住宅需要の減少に加えコロナ禍で受注戦略や営業成績による差が大きく、堅調な企業がある一方で業況悪化を訴える企業と二極化が進んでおり、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

●9月の県内のプレカット工場の市況としては、前半は定時操業の工場が多かったが、連休明けはどこも仕事が多く、残業を行う工場が多かった。

原木市場では、国有林などの現場が動くことで8月に比べて出材量が増えているが、各森林組合からの出材は盛り上がりには欠ける状況が続いた。原木相場は桧を中心に上げ基調が続いており、価格の上昇を受け一定の出材量の増加を見込んでいる。

印刷 (出版・印刷・同関連)

●前月に比べると少し仕事が戻ってきているように感じるが、戻りきる兆しはない。

化学・ゴム (工業用ゴム製品)

●緊急事態宣言解除後、人の移動が多くなった結果、再び新型コロナウイルス感染拡大が進行し、回復基調にあった経済が8月以降再び足踏み状態になりつつある。自動車の国内生産台数も7～9月は前年比15～20%減少まで戻ったが、それ以降も前年比10～15%減少で数年間推移しそうだ。

化学・ゴム (プラスチック製品製造業)

●自動車関連の売上、設備稼働率は回復基調ではあるが、業界全体では

未だ減少している。

各社資金繰りへの影響が懸念される。

問題は、新型コロナウイルス感染症の終息時期が見通せないことである。

窯業・土石製品

●出荷状況

R2年 9月3,159m³ (前年比1.87%減少)

R2年 8月2,621m³

R1年 9月3,219m³

上期(4~9月)の出荷は対前年比4.09%減少であった。

鉄鋼・金属製品(鉄鋼業)

●マツダの生産再開により、自動車部品製造は回復基調にあるが、自動車の販売不振により業績見通しは不透明の状況である。

船舶関連は前年並みに推移するも、産業機械などは前年比減少となる見通しである。

一般機器(一般機械器具)

●今月の売上は、前月比は30%増加となったが、新型コロナウイルス感染拡大の長期化に伴う国内外の景気減退により前年同月比は10%減少となった。

収益状況、設備操業度は前年比悪化となり厳しい状況が続いている。今後も悪化のまま横ばいで推移していくことが予想される。

●売上は、月によって増減が激しく先行きが読めない状況である。

電気機器(電気機械器具)

●先月同様、新型コロナウイルスの影響で、国内外ともに受注が減少しており、前月比5%減少、前年同月比10%減少となった。設備投資減少の影響は大きく、小型機種での減少幅が大きい。

輸送用機器(輸送用機械器具(自動車))

●組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客(マツダ)の業況(生産台数)に比例している。

・9月の国内自動車販売台数は全需が470千台、前年同月比14.3%減少と12ヶ月連続の前年割れ。登録車は前年同月比15.6%減少と12ヶ月連続の前年割れ。軽自動車も前年同月比で12.1%減少と12ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同26.0%減少と6ヶ月連続の前年割れ

・マツダ車の8月の海外販売合計台数は89千台、前年同月比13.1%減少で8ヶ月連続の前年割れ

・マツダの8月の輸出台数は前年比24.9%減少と11ヶ月連続の前年割れ

・マツダの8月の国内生産台数は、前年同月比19.3%減少と11ヶ月連続の前年割れ

輸送用機器(輸送用機械器具(造船))

●中小造船業については、前月と大きな変化はない。

●県内2,500総トン以上の令和2年8月の船舶建造許可実績は4隻94,400総トンであった。(前月1隻11,900総トン、前年同月5隻298,750総トン)

なお、内訳は国内船が1隻でその他輸出船は3隻で全てが貨物船であった。

非製造業

卸売業(総合)

●新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、売上は前年同月比減少、景況感も悪化している。

●全体として景況感に大きな変化は見られないが、新型コロナウイルスの影響長期化が強く懸念されている。

新型コロナウイルス感染症拡大の長期化による収支への影響は大きく、助成金や金融機関からの資金調達により当面の資金を賅っている状況にある。先行き不透明感は拭えず、早急な打開策が見いだせない状況が続いている。

卸売業(食料)

●食料品小売業において、特に小規模事業者の売上不振が目立つ。

卸売業(電設資材)

●コロナ禍で新築住宅着工の減少が続き、今後に影響が出る可能性が高い。

来春の採用について、大手企業の採用縮小による中小企業への関心の高まりや、コロナ禍の影響が大きい業種を避ける動きもあるのか、会社訪問や採用面接へのエントリーが例年より多い。

卸売業(家具)

●今月は、上旬は台風の影響により売上は減少したが、トータルで見ると前々年並みで推移している。

10月は消費税率引上げの反動減により前年比増加となる見込みである。

卸売業(畳・敷物)

●国産表はコロナ禍で販売もやや低調、畳表の相場は横ばいの状態

ある。

今年7月の中国産畳表の輸入量は前年同月比14.9%減少と回復基調には至っていない。

小売業(各種商品小売業)

●内食需要で好調だった生鮮食料品は天候不順の影響から入荷量が減少し、相場高の影響もありカット野菜など手頃な価格帯の商品が伸びている。

コロナ禍の長期化に伴い、消費者は先行き不安から優先順位の低いものの消費を抑える節約志向が鮮明となり、より安いものや特売品を求める傾向が見られる。

●全体として、業績は回復しない。新型コロナウイルスの影響で売上減少が続く店舗と回復し前年比増加となる店舗があるなど、店舗間格差が大きくなりつつある。売上減少が続き、店舗の閉店が懸念される。

小売業(家庭用電気機械器具小売)

●今月の販売実績は前年同月比5.6%増加となった。

猛暑によるエアコンの売上は9月に入っても勢いは衰えず、商品不足も続いている。

小売業(その他の小売業(燃料))

●新型コロナウイルス感染症拡大の影響で需要の落ち込みが戻りきらない。カーケア商品等燃料以外の商品は石油製品以上に落ち込みが激しい。

商店街(各種商品小売業)

●人通りは戻りつつあるが、売上は未だ前年同月比減少が続いている。

●新型コロナウイルス感染症拡大の影響による倒産はなかったものの、売上減少と店主の高齢化により、これを機に自主廃業を決めた飲食店が1店舗あった。

サービス業(自動車整備業)

●車検台数は、前月比38.5%増加、前年比変化なし

車検場収入は、前月比38.2%増加、前年比2.1%増加

重量税・登録印紙の売上は、前月比29.7%増加、前年比8.3%減少

サービス業(広告業)

●若干稼働しているが、従来の受注量までは回復していない。引き続き受注見込みは少ない。

高齢の組合員1社がコロナ禍で廃業した。今後同じことが発生する可能性がある。

サービス業(警備業)

●今後も新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される。

建設業(工事業)

●カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、9月度は前月比16.0%増加、前年同月比4.8%減少、累計前年比7.9%増加となった。前月比、前年同月比では波はあるが、前年累計比では微増が続いている。

●今月の工事受付け件数は、前月比3.65%減少、前年比20.75%減少となった。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で「住宅新築を踏みとどまる家主」が多い。

運輸業(道路貨物運送業)

●今月は、経済活動の再開と共に物流の動きも好転しつつある。

●やや持ち直した感はあるが、前年同月比12%減少で売上は75万円減少となった。この売上減が組合の存続を分ける可能性もある。

●9月の売上は、前年同月比大幅減、前月比ではお盆の特需により微増であった。

前月同様、関西・中部・関東方面からの返路貨物が7月以降増加傾向にあるが、「コロナ運賃」と称して以前より運賃は安価となっている。特に利用運送にかかる運賃が低廉化している。

新型コロナウイルス感染症により、通販がさらに拡大し、宅配事業者は貨物取扱量が増加しているが、それ以外の貨物は緊急事態宣言発出前までは回復していない。

運輸業(水運業)

●船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

その他(不動産業)

●今月は、地価調査評価作業報酬、固定評価時点修正作業報酬の入金等で売上高、収益状況、資金繰りに対して前月比増加した。前年同月比は変化なし。

今月から国土交通省の地価公示評価作業が始まっているが、その他の一般評価件数については特に変化はない。

不動産市場においては、コロナ禍の影響による先行き不透明感から取引件数が減少している。賃貸物件についてはコロナ禍で控えていた人の移動が増えてきたためか、住宅物件の成約が増加傾向にある。



Shinkumi Bank
信用組合
しんくみ

ちかくにいるから、
チカラになれる。

信用組合は、中小企業や小規模事業者、地域・業域・職域の生活者である組合員に対して、
決め細やかな訪問活動と、人の温もりを大切にされた親身な相談活動を通して、
どんな時も、組合員と共に歩み続ける、身近な金融機関であることを約束します。

広島市信用組合

☎(082)248-1171
広島市中区袋町三番十七号

広島県信用組合

☎(082)249-1111
広島市中区富士見町一番十七号

信用組合広島商銀

☎(082)244-1152
広島市中区西平塚町四番十二号

呉市職員信用組合

☎(082)253-4066
呉市役所本庁舎八階
呉市中央四丁目一番六号

両備信用組合

☎(0847)451-2228
府中市元町四六二番地の十

備後信用組合

☎(0849)226-5566
福山市野上町三丁目二番三号

広島県信用組合協会

☎(082)247-7363
広島市中区宝町九番十一号

新型コロナウイルス感染症に関する 資金繰り支援のご案内

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小企業等のみなさまへ、資金繰りの支援を行っています。お気軽にご相談ください。

広島県新型コロナウイルス感染症対応資金

- 実質無利子（当初3年間）（※1）
- 無担保
- 据置最大5年以内
- 信用保証料 全額又は半額補助（※2）

（※1）対象期間中に金融機関に対して支払った約定利息について、県から利子補給されます。

（※2）条件変更に伴い追加して生じる信用保証料については、別途必要となります。



お申込み・お問い合わせ先



広島県信用保証協会

HIROSHIMA GUARANTEE

本 所	TEL (082) 228-5501
呉 支 所	TEL (0823) 21-9281
福山支所	TEL (084) 923-4893
備北支所	TEL (0824) 62-3917



▶ HPは
こちら



「ものづくり連携倶楽部ひろしま 第12回講演会」 開催のご案内

～ピンチを乗り越えていく中小企業の経営戦略～

新型コロナウイルス感染拡大により、社会全体が大きな転換期を迎えている中、第12回目となる「ものづくり連携倶楽部ひろしま 第12回講演会」は、「ピンチを乗り越えていく中小企業の経営戦略」を2パートに分けてオンラインで開催します。

第1部の講演会は、儲ける企業体質への転換のため、早くから工場のデジタル化を進め、現在は中国地方で初の「ローカル5G」を導入し、更なる生産効率を追求するほか、高品質・高付加価値化を探求。常に「企業の変革」に取り組んでいる事例を、第2部の事例発表会では、新型コロナウイルスの感染拡大などの環境変化にも対応して新商品・新事業展開を行っている事例を紹介します。

各企業のビジネス展開を参考にさせていただきたく、多数のご参加を賜りますようご案内申し上げます。

■日 時:令和2年11月26日(木)14:00～16:00

【講演会】第1部(14:05～15:05)

「IoT対応無人化工場の実現に向けて」

～社員と共に成長する、つぶれない会社づくり～

講師:株式会社ひびき精機 代表取締役 松山 英治 氏

<http://www.hibikiseiki.com/>

【事例発表会】第2部(15:15～16:00) (第2部)

平岡工業株式会社(代表取締役 平岡 良介 氏)

有限会社フルカワ(代表取締役 小川 國博 氏)

■場 所:オンライン(ZOOM開催)(※PC端末と、インターネット環境が必要です)

■招待URL:申込頂いた方に個別でメールにてご案内します

■対 象:組合及び組合員企業、賛助会員、ものづくり補助金採択企業等

■定 員:100名

■参加費:無 料

※詳細及び参加申込については、

広島県中央会HP (<http://www.chuokai-hiroshima.or.jp/>) をご覧下さい。



中央会誌

10月 OCTOBER 2020

- 1日 ●全国中央会 全国大会特別委員会 (帝国ホテル) <会長>
- 5日 ●(協)東広島ショッピングモール 活路開拓事業 調査・研究事業第4回委員会 (フジグラン東広島会議室)
- 5日 ●(協)ベイタウン尾道 卸商業団地機能向上支援事業 第2回委員会 (組合会館)
- 7~9日 ●第23回関西機械要素技術展共同出展 (インテックス大阪)
- 9日 ●厚生労働省 第45回労働政策審議会 (厚生労働省 省議室) <会長>
- 14日 ●RPAセミナー(オンライン)
- 15日 ●令和2年度組合青年部県大会 (おりづるタワー) <会長・専務>
- 15日 ●第4回生産性向上ワークショップ(オンライン)
- 21日 ●JPN(協) 外国人技能実習制度適正化事業 (組合事務所)
- 22日 ●第72回中小企業団体全国大会 (ザ・ヒロサワシティ会館(水戸市)) <会長・専務>
- 23日 ●宮島細工(協) 取引力強化推進事業第3回委員会 (組合事務所)
- 26日 ●(協)広島総合卸センター 卸商業団地機能向上支援事業 街づくり事業 第2回委員会 (組合事務所)
- 27日 ●瀬戸内フードコミュニティー 展示会等出展・開催事業・本委員会(第3回) (広島市産業振興センター会議室)
- 27日 ●(協)福山卸センター 卸商業団地機能向上支援事業 組合活性化事業委員会(第2回) (組合会館)
- 28日 ●コロナ専門家派遣 広島県アパレル(工)
- 29日 ●創研ファッション(協) 外国人技能実習制度適正化事業 (組合事務所)
- 29日 ●コロナ専門家派遣 (協)JMU呉協力会
- 30日 ●コロナ専門家派遣 尾道観光土産品(協)

※太字になっているものが、広島県中央会の事業・行事になります。

編集後記

今月で我が家に猫がやってきてちょうど1年になります。最近では猫の行動の特徴が分かってきましたが、特に感じるのはいずれの家族に対して明らかに態度が違うことです。「餌係」の妻にはご飯タイムが迫るとおねだりが激しくなり、異常にマーキングをしてアピールをしますが、私や息子が餌をあげるときはそうでもありません。「遊び係」の息子が帰ってくると、急にテンションを上げて「遊んで!」と猛烈にアピールが始まります。私は特に何係ということはありませんが、しいて言えば「甘えさせ係」であり、くつろいでいるときに体の好きな部分をなであげると、腹を見せてすぐにゴロゴロと甘えてきます。

調べてみると、猫は「自分にとってメリットになることをしてくれる人」を特によく理解しているそうです。「遊びたい時はこの人」「お腹が減ったらこの人」「甘えたい時はこの人」というように、その時の自分の気分によって相手を選んで接する傾向があるようです。要するに猫はその時その時で「自分が快適に暮らすこと」を最も大切にしている行動しており、これがまさに猫が「マイペースで気まぐれ」と言われる所以なのです。

(筒井)

表紙のことば

広島市「銅蟲」
細やかな凹凸模様が
美しい銅製品です!



写真提供:広島県

年月と共に魅力を増す、味わい深い銅細工

「銅蟲」は江戸時代初期、広島藩主 浅野侯お抱えの細工師であった佐々木伝兵衛が考案した銅製品。銅板を槌で幾度も叩いて整形し作り出す、細かな「ツチ目」模様が特徴で、その一風変わった名前は、細工師の熱心な仕事ぶりを見た藩主が「銅の蟲(仕事の虫)のようだ」と褒め称えたことが由来と伝えられています。「銅蟲」はツチ目模様をつけた後、わらで燻し、磨き上げて黒茶や赤銅の深みある色に仕上げるのですが、この独特な風合いも人気の理由。年月を重ねるほどに光沢や渋味を増し、いっそう味わい深くなると好評を得ています。

(広島県指定伝統的工芸品)



メルマガ会員募集中

当会のメルマガにご登録いただいた方には、公の施策やセミナー案内状などの「最新情報」を定期的にお届け致します。組合運営に係るお役立ち情報をお届け致しますので、是非ご登録ください!!

ご登録はこちらの
アドレスへご一報下さい。

E-mail: chuokai@chuokai-hiroshima.or.jp



従業員の課題解決力を強化して生産性アップ！

12月開講コース
受講生募中!!

生産性向上支援訓練受講のご案内

ポリテクセンター広島では、企業で働く人々を対象とした、課題解決力を強化してウィズコロナ時代の変化に対応し、勝ち抜くための生産性向上を目指すセミナーを実施しています。

コース番号 1 ナレッジマネジメント

ナレッジマネジメントの重要性を理解し、ナレッジ(知見)を収集・活用できる知識・技能を習得します。

日時 令和2年12月8日(火)9:30~16:30(6時間)

会場 RCC文化センター610会議室(広島市中区橋本町5-11)

講師 塩谷 未知 氏((株)日本能率協会コンサルティング講師・青森中央学院大学 経営法学部 教授)

内容 ・ナレッジマネジメントの必要性 ・形式知と暗黙知

対象 ・手順化、定型化するために仕事のマニュアル化を推進したい方。

・イノベーションに向けた活動を支援するナレッジマネジメントツールの活用を検討したい方。

・自社における個人知・暗黙知の情報共有方法を検討したい方。

〆切
11/24

定員15名 受講料 3000 円(税別)

コース番号 2 チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割

中堅・ベテラン従業員が求められる今後の役割や能力を確認し、職場の課題に対してこれまでの経験に基づき後輩従業員と共同で解決策を得るための知識と技能を習得します。

日時 令和2年12月10日(木)9:30~16:30(6時間)

会場 (株)タナベ経営中四国支社内研修室(広島市中区鞆町13-4広島マツダビル2F)

講師 影本 陽一 氏((株)タナベ経営 経営コンサルティング部 部長)

内容 ・職場の課題の現状把握と解決のプロセス ・中堅・ベテラン従業員に求められる役割と能力

・アサーティブな関係構築

対象 ・職場の諸課題の発見方法及び解決のための進め方・考え方について理解したい方。

・中堅・ベテラン従業員として、今後のキャリア形成について理解したい方。

・自身の職務の棚卸を理解したい方。

・職場内でアサーティブな関係を構築する方法を習得したい方。

45歳以上
の方対象

〆切
11/26

定員15名 受講料 3000 円(税別)

コース番号 3 効果的なOJTを実施するための指導法

後輩従業員へのノウハウの継承を目指して、中堅・ベテラン従業員がもつ経験や技能をOJTを通じて後輩従業員に伝達するための知識と技能を習得します。

日時 令和2年12月15日(火)9:30~16:30(6時間)

会場 RCC文化センター610会議室(広島市中区橋本町5-11)

講師 小谷 茂生 氏((株)日本能率協会コンサルティング パートナー・コンサルタント 城西大学講師)

内容 ・人材育成のプロセス ・効果的なOJTの進め方とポイント ・現場で活かせる実践的指導法

対象 ・職務上必要な職業能力を習得するための見える化をしたい方。

・職業能力の向上を図るための人材育成プランを作成したい方。

・後輩従業員のOJT計画を作成したい方。

・OJT時の効果的な指導法を理解したい方。

45歳以上
の方対象

〆切
12/1

定員15名 受講料 3000 円(税別)

一申込方法一 以下のHPに掲載している受講申込書に必要事項をご記入の上、当センター宛てFAXでお送りください。また、スキルレベル等ご不明な点もご遠慮なく下記連絡先へお問い合わせください。

主催 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構広島支部 (JEED広島)
ポリテクセンター広島 生産性向上人材育成支援センター

〒730-0825 広島市中区光南5丁目2番65号
TEL : 082-248-1532 FAX : 082-241-4734
E-mail : hirosima-seisan@jeed.or.jp
HP : http://www3.jeed.or.jp/hirosima/poly/

ポリテク広島



(2020.11月)

BESTパートナー
大樹生命

経営者・役員・従業員とそのご家族の 安心の保障を準備するために 中央会の共済制度をご活用ください。



従業員のための 退職金準備に 特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、
安定した退職金準備が
できる共済制度です。

特定退職金共済制度 引受保険会社
大樹生命保険株式会社



経営者・従業員のための 万一の保障 団体扱生命保険

団体扱* (月払)の場合、
一般扱(口座振替月払等)で
ご契約いただくよりも、
保険料が割安になります!

オーナーズプラン

経営者の
各種リスクマネジメントのために

パートナーズプラン

役員・従業員の皆さまの
保障準備をサポート



業務上の災害への備えに 業務災害補償保険

事業活動にかかわる
従業員さまのケガなどのリスクを
カバーする保険です。

業務災害補償保険 引受保険会社
三井住友海上火災保険株式会社
業務災害補償保険 取扱代理店
大樹生命保険株式会社



- * 団体扱とは、広島県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。
- * 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記までお問い合わせください。
- * 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおり-約款」および広島県中小企業団体中央会の「退職金共済規程(規約・規則)」等を必ずご覧ください。

大樹生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の取扱代理店として損害保険代理店委託契約を締結しています。



お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社

広島支社 〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 大樹生命広島駅前ビル6F TEL:082-262-0250

福山支社 〒720-0043 広島県福山市船町7-25 ケイエースビル7F TEL:084-928-3388

<https://www.taiju-life.co.jp/>